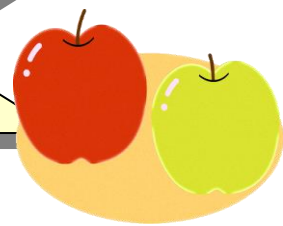


保健師職能委員会だより

平成25年11月発行



今年度、滋賀県看護協会保健師職能では、新人期を終えた保健師の中堅期に向けてのステップアップを目的に、移行期保健師研修会を実施しました！

平成25年度移行期保健師研修会 10月15日 in 滋賀県看護研修センター

講演 『地域の健康を守る保健師活動とは
～個から地域へ 保健師活動の醍醐味を知ろう～』
講師：滋賀県健康福祉部 保健師活動アドバイザー 大林豊子 氏

経験年数2～11年の保健師26名の参加がありました。

久しぶり！と声があがるかと思いきや、初対面の人が多く、保健師として出会う場や話す機会が減っていることを実感しました。

○ グループワークの様子

大林さんのリードで、まずはお互い知り合うこと、日ごろの保健師活動で思っていることをグループで話し合いました。

テーマは

- ① あなたが思い描く保健師活動は
- ② 保健師をしていて「よかった」と思ったこと
- ③ 保健師をしていて「つらい、いや」と思ったときとその対応
- ④ 望む支援



よかったのは「住民のよい変化が見られたとき」「それを報告に来てくれたとき」「ケースに関わったたくさんの関係者とのつながりが次の役に立ったとき」
うんうん、わかるわかる…

つらかったのはクレーム対応や困難ケース、保健師間で意見が分かれたとき。それから、関係機関からすごく怒られた…情報をみんなで共有して統一したり、上司に相談したりして何とか乗り越えたけど。
大変だったね…

同じ経験年数の人と話せて、同じ様な悩みを持っていることがわかった。同じ保健師と話せる機会は、共感でき、勇気をもらえる。



グループワークの後、講演を聴きました。少し時間が足りなくて残念でした。



≪講演内容≫

大林さんの保健師としての経験を振り返りながら、保健師としての醍醐味を熱く語っていただきました。

保健師は人と繋がっていく人。人とのつながりが、人や組織を動かす原動力になる。

地域に出向いて、地域の実態を把握し、それを事業化していくことも、保健師の役割である。

講演を聴いて、やっぱり保健師っていい仕事！と思えた。他市町の保健師が同じ思いで仕事を頑張っているとわかり励みになった。

平成 25 年度滋賀県中堅期保健師コンサルテーション研修 経過報告

8月から始まった中堅期保健師コンサルテーション研修も、中期プログラムまで終了し、実践期に入っています。対象者へのききとり訪問、関係者へのききとりを経て、保健活動の企画・実施・評価、そして政策提言と、タイトなスケジュールで、受講者はそれぞれ頑張っており取り組んでいます。各職場においても、受講者へのサポート、ご協力をお願いします。

まだまだいけますよ！
たくさんの方の参加をお待ちしています。

平成25年度 保健師職能集会のご案内

☆ 日 時：平成25年12月7日（土）

13時30分～16時30分（13時～受付）

☆場 所：滋賀県看護研修センター（草津市大路2丁目11-51）

☆テーマ：「保健師活動指針でみんなと語り合いたい！」

いつやるのか？今でしょ！」

○ 講話「保健師活動指針を読み解く」

堀井 とよみ氏（京都光華女子大学健康科学部看護学科教授）

（公益社団法人滋賀県看護協会 監事）

